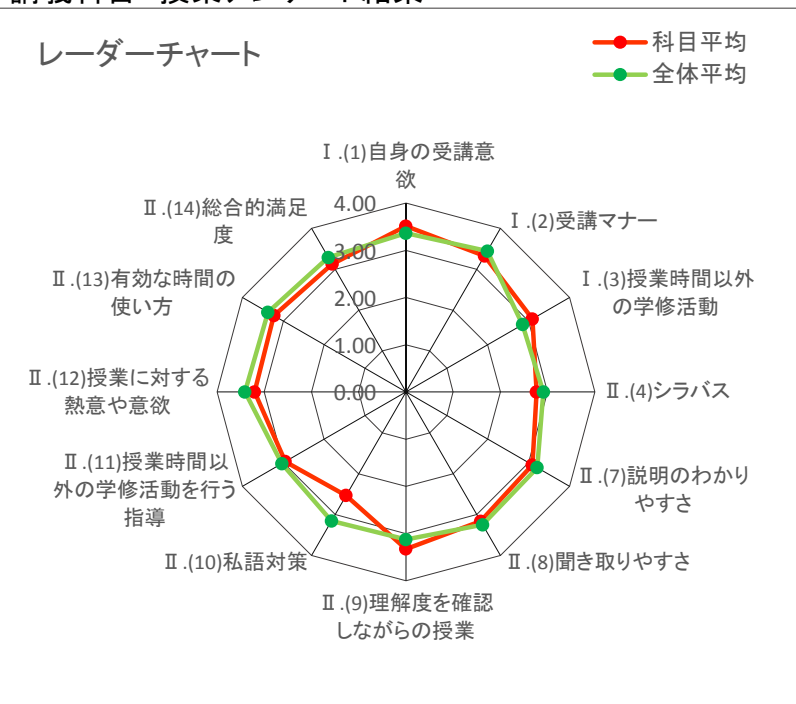
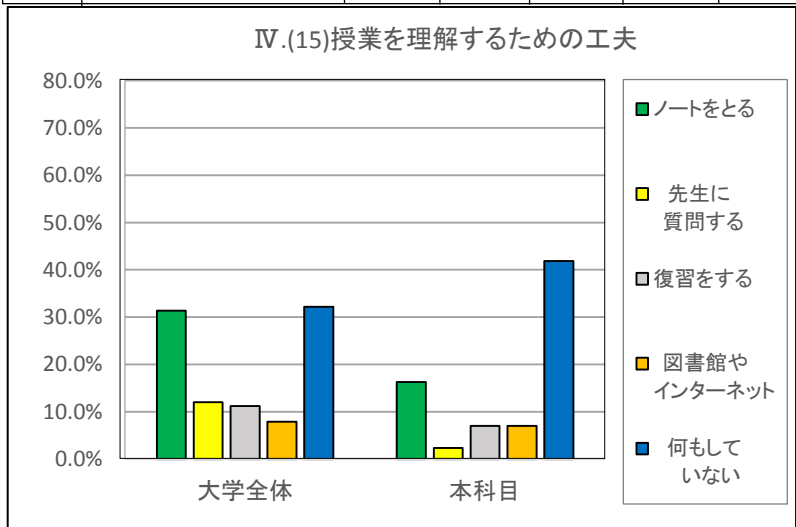


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	16.3%	2.3%	7.0%	7.0%	41.9%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	32106
科目名	国文学入門
教員名	

①授業計画の達成度について

授業内容については概ね当初の計画通り進行させることができた。しかしながら、学生に対してどこまで授業目標を認識させられたかについては課題が残った。本講義が中学高校教員免許取得のための科目であり、和歌の基礎知識を身に付けることが目的であることについては講義中に言及したが、当初の板書に記す、講義の冒頭で明確に説明するなどすべきだったと反省している。また、学習の難易度をどこに設定するかについては、やはり課題が残った。当初の予定では中学・高校教員免許取得希望者を対象に想定して計画していたが、予想外に多人数の学生が集まり古典文学に関する基礎知識に考慮を要する必要があるため、難易度を低めに設定し過ぎたところがあった。また学生の古典文学への抵抗感を減らすため卑近な例から高次の問題へと入ることを目指したが、高次の問題へ入る点に課題が残ったと考えられる。

②授業の進め方について

声や言葉、説明の明瞭度については一定の評価を得られたと考えられるが、言葉の選び方、説明の仕方にももう少し明確にする必要があったと反省している。また、学生に質問した際に学生側から誤った回答が返ってきた時の説明については今後も研究してゆきたい。授業環境については、私語対策が大きな課題であった。一部学生に私語の絶えない者がおり、度々注意した。途中からはスポーツ振興課の協力も得て対応したが、今後は更に対策に努めたい。授業満足度については一定の満足度が得られているが、一部学生に私語に対する不満、難易度の低さへの不満があったことを認識している。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

参加型の講義にし、時間の配分を前回の振り返り+講義+学生の学習+発表論評+講義のように行って、学生の集中力が途切れないように努めた。公開授業でも受講教員よりその旨、評価いただけた。今後の課題としては①講義の難易度をもう少し上げる(高次の問題を設定し学生に思考させる)、②私語対策(私語をする者にはペナルティーを課すなどの工夫を行う)、③質問に対する対応を工夫する、④授業外での復習を促すような課題を課すこと、などが挙げられる。改善のまだまだある。努力していきたい。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.51	3.36
	I.(2)	3.33	3.45
	I.(3)	3.09	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.77	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.09	3.21
	II.(8)	3.16	3.25
	II.(9)	3.33	3.13
	II.(10)	2.53	3.16
	II.(11)	2.95	3.04
	II.(12)	3.21	3.41
	II.(13)	3.23	3.37
満足度	II.(14)	3.13	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.31	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.03	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.13	3.29
III.(14)		